

2024年12月7日

～ 鎌倉市テニス協会2024年度 第三回理事会 議事録

(記：船倉) ～

日 時：2024年12月7日(土) 16時～18時00分

場 所：鎌倉武道館 会議室

出席者：関本会長、川田副会長、富取副会長、安福理事長、岡崎副理事長、

米山・関・富永・太平・小田切・船倉 各理事

伊藤・足立 各監事

13名

会長挨拶：関本 会長

・今年度に計画したほぼ全ての行事が完了しようとしている。親子テニス教室ではTV撮影が入ったり、市民大会では参加者増など、施策が成功し、活気を取り戻しつつある。ただし、各団体の高年齢層のプレーヤー数の減少は、若年・中年層の増加のペースよりも早く、全体的にはプレーヤー数減少の傾向は続いている。テニス協会として既存の行事の継続だけでなく、時代に合わせて新たな施策にチャレンジする時期に来ていると考える。理事会でしっかり議論していきたいので協力を願う。

議題1. 役員改選について

- ・2025年に、2年に1度の役員改選がある。
- ・基本的には現メンバーを継続する方針とする。
- ・川田副会長は、七里ガ浜TCの役員交代に伴い変更する(後任は別途連絡)
- ・普及指導委員会に荷川取さんを追加する。
- ・実業団委員会に谷さんを追加する。

議題2. 報告事項

1) 競技委員会

(安福委員長)

① 2024年度行事の状況

- ・資料に基づき7月以降の行事について報告した。

② 鎌倉市民テニス大会の状況

(米山副委員長)

- ・資料に基づき鎌倉市民大会の総括について報告した。
- ・参加者は102組と大幅増(前年72組)であったが、少年少女は不成立であり対策が課題である。

2) 実業団委員会

(岡崎委員長)

① 2024年度行事の状況

- ・資料に基づき7月以降の行事について報告した。

3) 普及・指導委員会 (大平委員長)

① 「鎌倉市 親子テニス教室」の状況

- ・来年度は太平委員長の事情により、横田委員が取りまとめることになる。
- ・資料に基づき25年度の計画について説明した。
- ・安定した収支とするために千の位を上げない範囲で会費を変更する。
(1500円→1800円)
- ・FORMS申し込みを継続し、残り人数表示するようにする
(キャンセルを見込み、オーバースタッフの方針)

4) 総務委員会 (安福委員長)

① 西鎌倉テニスクラブの退会について

- ・廃業に伴う西鎌倉テニスクラブの退会を承認した。

② 本年度 会計決算見込み&2025年度予算案 (富永副委員長)

- ・資料に基づき2024年度中間決算および2025年予算案を報告した。

③ 加盟団体会員数と大会参加者数の状況 (定点観測)

- ・資料に基づき加盟団体会員数と大会参加者数の状況を報告した。
- ・施策で18歳以下の参加者を増やして大会参加者数全体の増加を目指したい

④ スポーツ施設優先利用申請状況

- ・資料に基づき2025年度の計画を報告した。
- ・ソフトテニス協会と調整済。資料を更新して、議事録とともに送付する。

⑤ ホームページの閲覧状況 (横田委員)

- ・資料に基づき閲覧状況を報告した。
- ・多い時には8000visitを超える閲覧あり。一般的にローカルサイトとしては多いと言える水準である。

⑥ メーリングリスト作成 (横田委員)

- ・資料に基づきメーリングリスト作成案について説明した。
- ・提案内容で進めることにする。
- ・在住・在クラブを分けたメーリングリストにする案もあるが以下の観点から一本化する。
 - ・管理面：管理負担を減らす
 - ・普及面：団体会員要件のある連絡をみてクラブ入会に繋がる可能性あり
- ・在住の方の手間を配慮し、配信本文に大会参加資格を明記することにする。
- ・当面は横田委員・安福理事長を中心に進めるが、総務委員を増員して対応していく方針とする。適任者に心当たりがあれば、安福理事長に連絡をして欲しい。

⑦ 来年度 理事会、総会日程について（案）

3月8日（土）15時半～16時半 第1回理事会
17時～18時 定時総会
18時半～20時半 懇親会
7月13日（日）17時～ 第2回 理事会
12月 6日（土）16時～ 第3回 理事会

議題2. 審議事項

1) テニスの活性化について

（関本会長）

- ・既存の行事にとらわれず、テニス協会の目的に沿って活動するように変化していきたい。
- ・テニス協会としてのビジョンについて十分議論できていると言えないと考えており、ここを詰めていく必要がある。
- ・活動を変えていくためには資金が必要であり、収入UPするための仕組検討も必要である。

例) 加盟団体会費の増額、親子テニス教室の参加料の増額等

- ・財政事情・コート事情もあるため、既存の行事を見直し、改善していくことから始めたい。各クラブのメリットにもなることを訴求し、さらなる協力を得ていきたい。

例) 親子テニス教室の回数UP、実施形態（子供のみ）、会費見直し等

2) 協会関連業務の人件費について（携わった時間に対する報酬対応）

- ・行事の準備等の協会業務はボランティアとして執り行われていることが多い。
- ・協会業務はそれなりのストレスもかかるため、せめて最低賃金のようなものを決めて労に報うようにしていきたい。
- ・参考情報としていきたいので、皆さんの協会業務の時間も記録して提供いただくと助かる。（安福理事長の実績：7月～本日：正味48hr）

3) 大会会計における運営管理費の扱いについて

- ・運営管理費についてスポーツ課現担当者の理解を得られている。
- ・担当者が変わった時には、認められないリスクがあるので、仕組みを見直していくべきと考えている。

4) 鎌倉選手権のコート提供について

- ・鎌倉選手権で主に使用してきた三菱電機コートが利用規定の運用の見直し（開催1か月前まで予約確定できない等）あり、これまで通りに使用していくのが難しくなった。（笛田コートを使用し、開催中であり、来年度以降も同様にする計画）
- ・笛田コートでは雨天時使用できず、優先使用で予約した期間に終了しないリスクがあり、バックアップコートが必要になる。今年度は予備日用コートとして三菱電機コートを確保できたが、来年度以降の確約はできない状況である。
- ・三菱電機コートについての交渉は継続するが、各クラブにおかれてもコート提供の検討を願う。

その他

・レプリコンワクチンに関する対応について

- 情報共有として七里ガ浜テニスクラブのレプリコワクチン接種対応について説明あり。
- クラブ員250名中2名がレプリコワクチン接種後に重篤な副反応を発症した。
- クラブの上部団体である七里ガ浜自治会は、相談があった場合には、「レプリコワクチン接種を推奨しない」と回答する方針としたので、クラブとしても同方針に倣うことにした。
- 日本テニス協会や神奈川県テニス協会からの情報発信もないので、鎌倉市テニス協会としては、特段の対応はしない。

<以上>